

美術品修復の現場から

17



吉備国際大教授

馬場 秀雄氏

りません。古代エジプト壁画やアジア全域およびヨーロッパの古典絵画の多くは顔料を膠で溶いて描かれました。油を成分は「コラーゲン」とよぶ繊維質の硬たんぱく質です。膠は膠絵のほか油などの接着剤が練り合に木工家貝などの接着剤として用いられます。膠絵の魅力はその天然然の具の美しさにあり、天然の鉱物や岩石を砕いて作



【さまざまな膠】三千本、鹿、粒、板などの膠。用途によって使い分ける

具は表面に取り残されて面と絵の具、また絵の具の粒子同士が接合し、水を使うというものが制限。画面上に留まった絵の具は直接空気に触れ、光に晒されることになりま

◆自分だけの色  
上の層ほど薄い膠水を使うというは、画面保持にも関連しています。上の層で濃い膠水を使うと絵の具の剥離を誘発してしまふ恐れがあります。画面に絵の具を塗るときには膠分が薄いと固着力が足りず、剥がれやすくなります。逆に濃すぎても乾燥する際に膠同士が引っ張り合って亀裂や剥落の原因になります。

# 膠絵って何？

剤とする膠絵はケル・テンペラなどが古典絵画技法として残ることになりま

る、群青・緑青・辰砂などの顔料は寶石を見るような輝きや、透明感があります。また、膠脂(幼虫から採取する赤色の天然有機色素)・コチニール・藍の

のですが、粒が大きいために接着剤を持った膠い膠水が必要となります。しかし、絵の具の発色は膠分が少ないほど良い(毎週土曜日に掲載予定)

## ◆主成分はコラーゲン

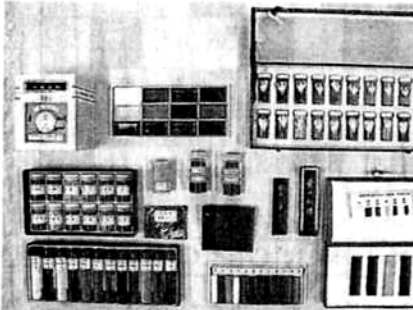
東洋絵画は今でも膠を

また、膠脂(幼虫から採取する赤色の天然有機色素)・コチニール・藍の

溶かれた状態では絵の具と接着剤である膠液は均一に混ざり合っています



薄く  
溶かれた状態では絵の具と接着剤である膠液は均一に混ざり合っています



【絵の具あれこれ】岩絵の具、水干絵の具、顔料、墨、棒絵の具、金泥など

「膠絵って何？ 油絵なら分かるけど」と、お思いの方は多いと思います。西洋絵画の「油絵」に対して、東洋絵画を「膠絵」とよびます。膠と東洋絵画との関係はとても深いのです。なぜなら東洋絵画は色の素である顔料(鉱物・岩石)を接着剤である膠で溶いて、紙・絹・麻・木・土・石などに描く千年以上前から続く絵画様式なのです。

しかし、膠絵は東洋絵画独自の絵画技法ではあ

「ドーサの効果」和紙にドーサを引いた右半分は絵の具はにします、ドーサの効果が出て